

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成21年度取組実績」

2.6 特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟

21年度の具体的取組		実績
1. あらゆる分野への参画の促進		
(2) 社会・地域活動への参画促進		
ア. 各分野における女性の参画促進		
審議会・委員会等への女性委員の半数以上の参画を求め、機会を得たら、積極的に行動する。		国、東京都、区市町村で各種委員を引き受ける。
イ. 男性の参画促進		
2地域を会場に、その特性を活かした開催方式を採用し、都内全域で活躍する地域団体に参加を求めて開催する。		ブロック会議葛飾会場で「生活の中から老子哲学」講演会。老子の説く女性の暮らし方について学習。
3. 男女平等参画を推進する社会づくり		
(1) 教育・学習の充実		
不況の中、生きづらい女性たちの女性差別解消は進んでいない。もう一度、身の回りで男女共同参画を点検し、ブロック会議を利用して意識の向上を図る意見交換会を開催する。		1泊2日の研修会で、「みんなで語ろう！婦人会活動の活性化」について話し合い、男性会員の入会が活動の活性化につながるので、積極的に進めようという結論となった。
(2) 普及・広報の充実		
情報・交流の推進		
東京地婦連機関紙『婦人時報』により、男女平等参画に関する情報提供を積極的に行う。		機関紙「婦人時報」毎月発行